

## トルンギアを私は推薦いたします！

島根県玉湯町 奥村医院 医師 奥村 剛清 先生

「先生、聞いてください!!」はずんだ声で診察室に飛び込んできたのは、70歳代の女性患者さんでした。

この患者さんの旦那さんは糖尿病で、運動療法として毎日ウォーキングを欠かさないまじめな方です。旦那さんの一生懸命な姿に感銘を受けたこの患者さんは、長い間一緒に歩きたいという願望を持っていたのですが、残念なことに両膝が悪く、それを実現することができないでいました。

最近までレーザーをあてたりしながら、なんとか痛みを和らげる治療を行なっていましたが、それではこの患者さんの切なる願いを叶えてあげることができないと感じた私(奥村医師)は、だめでもととの思いで「トルンギア」を薦めてみることにしました。私はこの患者さんに、特に痛みの強い右膝に、2週間「トルンギア」を巻くよう指示しました。



2週間後、この患者さんの話を聞いて「トルンギア」のすばらしさに驚かされることになるとは、正直いって このときは思ってもみませんでした。

「これ(トルンギア)を巻いた翌日から、とてもいい調子なんです。最近、夫と同じようにとはいかないけれど、一緒にウォーキングに出てるんですよ。今は無理をしないように自分のペースで、少しずつではあるけれど毎日歩くようにしています。」

今までは、このような患者さんには「この膝には、長年活躍してもらったでしょう。これからは、休ませてあげてください。」と、膝の痛みが完治しないことを受け入れてもらうしかありませんでした。ところが、この話をきっかけに他にも何人かの患者さんに試してもらったところ、ほとんどの方が程度の差こそあれ「とても調子がいい」と答えたのです。そして中には、それをきっかけに「生きる意欲が出てきた」「毎日楽しく過ごせるようになった」と答えてくださる方もいらっしゃいました。

私たちのような医師が患者さんに何かを試してみてもらう場合、一番気にするのはそれによる副作用です。しかし、「トルンギア」に関していえば、その心配はいりません。私が試してもらった患者さんの中にも少数ですが「ほとんど効果がなかった」とおっしゃる方はありましたが、「かえって悪くなった」「他に症状が出てきた」といった返事は皆無でした。

「トルンギア」は、私たち医師の立場からみても画期的な商品といわざるを得ません。それは上に示したような事実がすべてを物語っているといえるでしょう。

これから私は自信を持って、この「トルンギア」がこれまで人生の一部を諦めざるを得なかった方の輝きを取り戻す可能性を秘めた、夢のある商品であることを患者さんにお話し薦めていこうと考えています。